

2022年1月14日

報道関係者各位

株式会社ニュースダイジェスト社  
愛知県機械工具商業協同組合

**産業用ロボット・自動化システムの専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN2022」  
出展申し込み相次ぐ。締め切り1カ月前で800小間超に**

2022年6月に開催予定の産業用ロボットと自動化システムの専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN（ロボットテクノロジージャパン）2022」の開催規模が、昨年12月末時点で100社800小間を超えました。

ロボットメーカーに加え、ロボットハンドやセンサーなどの周辺機器、無人搬送車（AGV）、計測システムなど、自動化に関わる幅広い分野の企業が出展を決めています。また、ロボットの現場への設置やシステム構築を担うシステムインテグレーター（SIer）や、大手工作機械メーカー各社の出展も予定されており、産業機械や機器と産業用ロボットが連携した実用的な自動化システムの展示にも注目です。出展募集の締め切りは22年1月31日（金）です。

出展を決めた企業からは、出展分野を主に工場内で使用する産業用ロボットと自動化システムに特化し、工場内の自動化、省人化など、具体的な目的を持った来場者が見込まれる点や、製造業を中心に産業が集積し、自動化機器への関心の高い中部地方で開催する点をご評価いただいております。

「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022」は、株式会社ニュースダイジェスト社（名古屋市千種区、代表取締役社長・樋口八郎）と愛知県機械工具商業協同組合（理事長・水谷隆彦）が開催します。会期は2022年6月30日（木）～7月2日（土）の3日間、会場は愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）です。

**【主な出展予定の企業】**

アマダ、SMC、岡谷鋼機、オリエンタルモーター、北川鉄工所、コスメック、近藤製作所、三共製作所、三明、芝浦機械、大昭和精機、ダイヘン、THK、DMG 森精機、デンソーウェーブ、東京エレクトロンデバイス、東京精密、中西金属工業、鍋屋バイテック、日本トムソン、ハイウイン、ファナック、牧野フライス製作所、三井物産マシンテック、ミットヨ、Mujin、安川電機、ユアサ商事など

**【当社社長、樋口八郎のコメント】**

大手ロボットやロボットの周辺機器、物流機器や工作機械などの各メーカー、SIerなど多くの企業が「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022」への出展を決めました。「産業用ロボットに特化」「製造業の盛んな中部地方での開催」など展示会の特徴を重視し、出展された企業も多くいます。より充実した展示会となるよう、今月末まで募集活動に注力してまいります。

## 【ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022 開催概要】

- 名 称 : ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022  
(ロボットテクノロジージャパン 2022、略称 RTJ2022)
- 会 場 : 愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)
- 開催期間 : 2022年6月30日(木)～7月2日(土)の3日間
- 開催時間 : 10:00～17:00
- 主 催 : 株式会社ニュースダイジェスト社
- 共 催 : 愛知県機械工具商業協同組合
- 対 象 来場者 : 工場内でロボット導入を考えるユーザー(自動車などの製造業、物流、食品・医療品・化粧品産業など)、システムインテグレーター、商社など
- 対 象 出展者 : ロボットメーカー、周辺機器メーカー、システムインテグレーター、商社など
- 対象出展製品 : 垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働ロボット、ガントリーローダー、無人搬送車(AGV)、自動倉庫、その他搬送機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・IoT 関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など。  
※サービスロボットは対象外です。
- 出 展 料 金 : 一般ゾーン 374,000円(1小間=2,970×2,970mm)  
SIer ゾーンA 275,000円(1小間=2,970×2,970mm)  
SIer ゾーンB 165,000円(1小間=1,980×1,980mm)
- 出展募集期間 : 2021年9月1日(月)～2022年1月31日(月)

### 【愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo) について】

2019年に開業した愛知県最大規模の国際展示場。総展示面積は60,000㎡。中部国際空港の隣接地に立地し、総合保税地域の機能を活用した国内で唯一の常設保税展示場。

【株式会社ニュースダイジェスト社について】

創業：1964（昭和 39）年 3 月 設立：1968（昭和 43）年 5 月

代表者：代表取締役社長 樋口 八郎（ひぐち・はちろう）

資本金：2,000 万円

従業員：22 名

本社：〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3

ホームページ：<https://www.news-pub.co.jp>

概要：1964 年の創業以来、工作機械の専門誌《月刊生産財マーケティング》を中心に、FA 業界向けの図書を多数出版。2018 年には産業用ロボットに特化したウェブマガジン「robot digest」を創刊。

【愛知県機械工具商業協同組合について】

設立：1949（昭和 24）年

代表者：理事長 水谷 隆彦（みずたに・たかひこ＝ミズタニ機販株式会社 代表取締役社長）

組合員：228 社 賛助会員：106 社（2020 年 10 月現在）

所在地：〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町 16-8

ホームページ：<http://www.aikiko.or.jp>

概要：愛知県内に所在する機械工具（工作機械、産業用ロボット、自動化システム、周辺機器、工具、測定機器など）商社の協同組合。情報共有だけでなく、勉強会や若手経営者の育成と交流に力を入れる。

---

本件に関する問い合わせ先

株式会社ニュースダイジェスト社 ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 事務局 担当：平野、西塚

Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457

公式 Web サイト：<https://robot-technology.jp>

e-mail：[info@robot-technology.jp](mailto:info@robot-technology.jp)

以上